

(2023 令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(26 京都市檜原) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能		クラス制導入9年目 (A・B・C・分室1・分室2の5クラス)	27年度からクラス制が導入された。帰宅コースをベースとして、本館A組、本館B組、本館C組、分室1組、分室2組の5クラスに子どもを振り分けた。クラスごとに出席簿を作成し、出席確認を行った。また、日常生活や各種取組、毎月の避難訓練等、集団で行動する時は、子どもたちに指示が入りやすいようにクラス単位 (少人数) で動かしている。
	安全・衛生の確保	出欠確認 (健康観察・精神面・行動の把握)	毎日、出席児童の出欠確認をしっかりと行った。同時に子どもの健康・精神状態の把握をするように気を付けた。保護者から欠席の連絡を受けた際、欠席理由や状況を確認する等して児童の健康状態や状況把握に努めた。無断欠席児童の保護者には連絡をし、子どもの所在確認に努めた。小学校の居残りで遅いのか、無断欠席しているのかわからず、出欠確認が遅くなるがあった。欠席連絡や帰宅方法の変更などは、育成室のホワイトボード (分室は、黒板) に記載し、職員間で共通認識ができるようにしている。
		あいさつの励行	場面に応じた基本的なあいさつをするよう、職員自ら模範となっており、職員間でもしっかりと挨拶をした。
		手洗い、うがい、消毒の励行	登館時、おやつ前 (土曜日及び長期休暇時は食事前)、運動場から帰ってきた時に、手洗い・うがいの声掛けを行った。感染対策としても声掛けを続けてきており、子どもたちも習慣づいてきている。ハンカチを持っていない子どもについては、お帰りの会で全員に向けて持ってくるように声掛けを随時行った。今後もしっかりと持って来るよう伝えていく。
		連絡帳の提出指導	1年生は、必ず連絡帳を提出し、2年生以上は、提出物や保護者からの連絡がある場合のみ、連絡帳を提出するようにしている。特に不都合はなかった。また、連絡帳を介して子どもの様子や状態を保護者と連絡・確認するようにした。
	健康の管理・情緒の安定	小学校運動場の遊具の使い方及び指導	総合遊具をはじめ、小学校の遊具の使い方について、基本的に小学校のルールに準じたうえで、学童クラブの独自のルールを設けて常に安全に配慮した。負傷した児童については、事実確認を行い、経緯を保護者へ報告した。児童が負傷した際、気になる事案については、お帰りの会で全体に向けて子どもたちとルールの確認している。
		玩具の安全な遊び方及び後片付けの指導	児童館の玩具の使い方や片付け方等について、随時指導した。大切に使うよう声掛けをしているが、玩具を投げたり乱暴な使い方をしたり、片付けをしない子については、その都度、個別に指導した。全体には、お帰りの会で考えさせる機会をつくり話し合いをした。今後も徹底した声掛けが必要。
		気になる言葉使いへの指導	相手に対し、気になる言葉使いをしている時などは、その言葉の使い方について、個別に指導をした。時には、全体で考えさせる機会を作り、言葉づかいについて児童と職員で確認するようにした。
		おやつ提供	令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、5月から、おやつ提供を再開した。カロリーや単価、子どもたちのアレルギーなどに注意しながら、15分以内に食べられるメニューでおやつを提供した。
	基本的生活習慣の確立	当番活動(おやつ・お帰りの会) ※ タテの帰宅コース班の子どもで実施	例年、『おやつ』(準備や食前後の挨拶等)・『お帰りの会』(司会進行)の進行を子どもたちに運営させることにより、自主性や責任感を養っていた。昨年度に引続き、班ごとの当番活動ではなく、日ごとに当番を募って行った。子どもたちが前に立つことで全体の動きが見え始め、組織的な行動が出来るようになってきた。また、役割を与えることによって、生き生きと活動し、みんなの前で進行することが、各々の自信と成長につながった。お帰りの会では、その日のお手伝いをしてくれた子どもを紹介し、みんなで感謝の気持ちを伝える場を作った。2年生以上の子どもたちが、ミーティングルームでの昼食、静かな時間の設営や1年生が場所移動する際の集合、引率の手伝い等を担ってくれた。
		登館時及び下館時の安全指導	特に1年生の多い帰宅コースの集団に職員が付き添い「送り」を行った。安全に帰宅できるよう随時指導をし、安全な集団下館の維持に努めた。子どもたちの下館の様子や各々の自宅付近の様子などを把握することができた。送り期間終了後も、何かトラブルが発生すればすぐに駆けつける等して子どもたちや保護者から聞き取りをし、対応した。集団帰りについて課題がある場合は、安全に帰宅できるように、お帰りグループごとに話し合いをしたり、お帰りの会で周知をした。
	社会生活技術の獲得	避難訓練(毎月実施) ※ クラス毎に集合・確認を行った	毎月実施することにより、避難する時間が早くなった。回数を重ねると慣れも出てきてふざける子もいた。その都度、個別に注意をし、指導にあたった。全体としては、概ね、真剣に取り組んでいる。また、出火場所や避難経路について様々な想定で実施することができた。
		「静かな時間」の実施 (土曜日・小学校休業日)	土曜日や小学校休業日は、昼食の後に体を休める時間として「静かな時間」を設定した。休憩を取ることで、子どもの体調維持ができた。
		安全衛生点検日(毎月15日)	各自のロッカーの使い方や荷物入れ方などを指導し、個人の物の管理を徹底させた。また、職員は施設内の安全衛生点検を実施した。

生活体験の拡大	班編成 ※ 帰宅コース	例年は、帰宅コースをベースとして、「本館A組」を1～5班「本館B組」を6～10班、「分室1組」「分室2組」を、各々1～5班に振り分けた。班単位での活動をおこなっているが、コロナ禍による学童クラブ生活の運営の変化により、今年度は班単位での活動(おやつ、当番活動など)は実施していない。
	七夕取組	七夕飾りの制作や短冊に願い事を書くなどし、季節を感じる事ができた。出来上がった飾りや短冊を地域の方から頂いた笹の葉に飾り付けた。
	『わくわくランド』の事前準備及び当日の運営 ※ 2年生以上の希望者	令和5年度は、子どもたちがスタッフとして参加し、あそびのコーナーの看板を書いたり、当日のコーナーがスムーズに回るよう、予め役割分担を決めて事前準備を行った。
	『わくわくランド』のあそびコーナーのスタッフ ※ 2年生以上の希望者	令和5年度は、当日のコーナーに、順番にスタッフとして参加してもらった。遊びコーナーの記録係や案内係をしてもらった。
	大そうじ ※ 役割分担制	日頃使用している児童館・分室を清掃することで、衛生環境を維持する意欲の向上につながった。また、児童館に対する愛着を持つ機会になった。各々が与えられた仕事をやり切ることで、取組に対しての達成感が得られた。
	おやつのおみせ(準備・運営) ※3～6年生	令和5年度は、おやつのおみせのお当番として、学童クラブの3～6年生が交代で準備・運営をした。おやつの種類がわかりやすいように、ポスターの作製などを子どもたちで行った。
	各種あそび (オセロ、けん玉、こま、将棋) 各種検定 (けん玉、ゴムとび)	・各種あそびを一定の期間設定して取組んだ。技や技能を向上させることで、自分に自信を持ったり、新しいことにチャレンジする意欲を高めることができた。上級生が下級生に教え合う姿も見られた。 ・お手玉の取り組みは、職員体制の問題等で中止した。 ・けん玉は、夏休み期間中、分室・本館に分かれて取組を行った。分室は、各部屋で取組を行うのは手狭なので、取組場所として、小学校のミーティングルームをお借りした。子どもたちは意欲的にけん玉に取り組んでいた。下級生にとって、4・5・6年生が色々なことを上手に出来る身近な憧れの存在となっている。また、お互い教え合ったりしたこと上達が早かったように思う。 ・こま遊びは、特に期間は設けず、日常の遊びとして実施。
子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだより(月1回発行)	各月の活動予定や持ち物についてお知らせした。
	学童クラブ通信(月1回発行)	令和5年度は、月1回発行する学童クラブ通信に、日常の出来事や行事などについて掲載し、活動の狙いや子どもたちの生活の様子を伝えた。
	一斉メール配信の実施(随時)	緊急時等の一斉メール配信を実施。提出物のお知らせや、新型コロナウイルスによる学童クラブ事業について等の重要なお知らせを、確実に伝えることができるようになった。児童数が多いため、提出物の締切前に配信して提出を促したり、未提出の場合に活用している。
	保護者懇談会(年1回)	午前、午後の2部に分けて行った。4月以降の学童クラブでの子どもたちの様子を伝え、夏休みの過ごし方を中心に説明した。
	個人懇談会 ※ 新入会生の希望者	10月に新入会生の希望する保護者対象を絞って実施。日程調整のうえ、保護者に児童館に来ていただき個人懇談を行った。館での子どもたちの様子をお伝えし、また、家での様子を聞いたりして情報交換をした。それによって、各家庭の考えや環境について知ることが出来た。
	登録説明会 41名参加	次年度の学童クラブ新入会希望者を対象に、児童館や学童クラブの事業概要や学童クラブ申請書類の書き方を説明した。
	入会説明会 46名参加	初めて学童クラブに入会する家庭を対象に、学童クラブ事業の詳細(運営方針や生活、約束事、費用など)の説明をした。最後に、集団帰りの帰宅コースごとに集まり顔合わせをし、帰宅ルート・危険な場所等を共有した。
	◇保護者会連携行事 わくわくランド【児童館主催行事】	令和5年度は、保護者さんに行事のお手伝いをお願いした。当日の運営や運営に入ってもらい、事前の実行委員会等は実施していない。 例年は、わくわくランドの担当保護者役員による『役員会』を実施後、保護者役員と実行委員とで『実行委員会』を1回行い、わくわくランドに向けての事前準備や当日のお手伝いをお願いしている。
	保護者会との連携(随時)	令和5年度の役員選出と4月に実施の保護者会総会はWebアンケート及び書面議決で行われた。 保護者会総会の資料の内容や総会の開催方法等について、保護者会役員と児童館職員で相談をし、準備を進めてもらった。 児童館は、セコムメールを利用し、総会についてのお知らせを保護者に周知した。また、同メールのアンケート機能を使い、総会の委任状の回答と書面議決の回答が出来るよう協力をした。
	保護者会活動 ※特記事項 (館外引率・館内大会)	例年、館外での『西京子どもまつり』・『西京ブロックドッジボール大会』の引率や、館内の『オセロ大会』・『卓球大会』・『将棋大会』の審判や子どもの見守り等をお手伝いいただいている。 令和5年度は「館内オセロ大会」行事のお手伝いを保護者さんをお願いした。
子育てを支えるネットワーク形成	小学校との連携(随時)	小学校と、学童クラブ児童に関する情報交換や、分室や運動場の使い方について調整を図り、密に連絡を取りあった。また、互いにおたよりを交換している。子ども間のトラブルについて、対象の小学校の担任の先生に学校の様子などをお聞きした。また、学童が対応した経過等の記録を情報提供した。登録児童が増え、ミーティングルームや体育館をお借りするなど関わりが定着してきた。
	ケース検討会の実施 ※巡回のみでケース検討会は無し	児童館学童連盟の岡崎達也氏に訪問していただき、気になる子どもの様子を見てもらった。今年度は、巡回の日に子どもの特性、支援方法のアドバイスをいただき、後日、職員の打合せの日に共有した。
	子育て支援機能	

(2023) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(26 樫原) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
班編成	1														0	例年は、帰宅コースをベースとして、「本館A組」を1~5班「本館B組」を6~10班、「分室1組」「分室2組」を、各々1~5班に振り分けた。班単位での活動を行っているが、新型コロナウイルス感染防止対策で、日頃の過ごし方を変えたことにより、今年度は班単位での活動(おやつ、当番活動など)は実施していない。
下館見回り	4/11~4/17														0	子どもたちが安全に帰れるよう、1年生のいる集団下館コースに、職員が付き添った。併せて帰るルート・要注意ポイントの確認を行った。
往復路安全指導	随時														0	安全に登館・下館ができるように、お帰り班で交通安全ルールについて話し合うなどして、安全意識を向上させる機会を持った。
あいさつの励行	随時														0	場面に応じた基本的なあいさつができるよう、常時指導した。
手洗い・うがい・消毒の励行	随時														0	登館時、お弁当やおやつの前・外遊びの後など、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、例年以上に手洗い・うがいと消毒を徹底した。
安全衛生点検日(毎月15日) (ロッカー整理日)	12	638	519	329	171	33	9	0	0	0	0	0	0	1699	毎月15日に、子どもたちは自分のロッカーの整理をした。また、ロッカーの使い方や荷物の入れ方などを指導し、個人の物の管理の徹底を図った。	
遊具の安全な遊び方指導 (運動場を中心に)	随時														0	運動場遊びでは、大型遊具の使い方・遊ぶ範囲などを小学校のルールに準じたうえで、児童館独自のルールも加え、安全な遊び方を徹底した。室内遊具についても遊び方のルール徹底した。ヒヤリ・ハットした際は、お帰りの会の時等、話し合いをし、子どもたちに考えさせる機会を作った。
机の出し方説明(1年生向け)	2	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	1回目の5月は、1年生が、2人で机を出したり片付けたり出来るよう、安全な机の出し方・片付け方を説明した。2回目の12月は1人で出来るように説明をした。	
運動場の使い方説明(1年生向け)	2	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	運動場で遊ぶ際に必要な、遊具の使い方、安全に使うためのルールなどについて説明をした。	
大掃除	1	33	22	14	9	4	1	0	0	0	0	0	0	83	日頃、子どもたちが使う本や玩具等の整理、館内外の掃除等、子どもたちが役割分担をして大掃除をした。	
入会式の取組	0														0	令和5年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。例年は、3・4・5年生の有志を募り、入会式で司会をしたり、けん玉・おてだま・ゴムとび等、普段のあそびを披露するための取組を行っている。
七夕取組	6/28~7/7 随時														0	季節行事。七夕飾りを作ったり、短冊に願い事を書いて笹に飾った。
けん玉あそび説明会(夏休み初日)	1	50												50	けん玉の取組開始日に、けん玉の正しい使い方や遊び方、けん玉検定の説明を新入会児童に行った。	
けん玉の取組	夏休み中の (土)を除く 毎日	967	900	625	445	160	12	0	19	0	0	0	0	3128	本館クラス1年生は育成室、2年生以上は遊戯室で、分室クラスは小学校のミーティングルームをお借りし、夏休みの午前中に実施した。	
けん玉検定	夏休み中の (土)を除く毎日 と冬休み期間	1061	982	671	471	169	14	0	19	0	0	0	0	3387	夏休み期間中に実施。けん玉検定表を、「初級」「中級」「上級」「段級」に分けて検定を行った。また、夏休み終了後も、子どもたちから検定をしてほしいとの要望があったため、冬休み期間にも2回実施した。	
こまあそび説明会・こま遊び	説明会を1 回行い、以 降は随時	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	こまの取組を始める冬休み初日に、こまの正しい使い方や遊び方の説明を行い、取り組んでいた。西京ブロック開催の「ギネス記録ランキング」に記録を提出するため、自由遊びの中で、記録を取った。	
西京ブロックドッジボール大会 引率	0														0	令和5年度は当館で開催している「わくわくランド」と日程が被ったため、中止となった。例年、ハンナリーズアリーナで開催される「西京ブロックドッジボール大会」に参加。引率・気になる子どもの見守り・試合前の子どもの呼び出しなど保護者会にお手伝いしてもらっていた。
将棋あそび説明会	1	16	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21	令和5年度の将棋あそび説明会は希望者に対して、はさみ将棋の説明を行った。将棋あそびを始める前に、将棋の遊び方、館内将棋大会と西京ブロック交流将棋大会の種目(本将棋・王さまつめ・はさみ将棋)とルールの説明をし、やりたい人が取り組めるようにカードを作成した。	
個人懇談(新入生・希望者)	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	10月に実施。今年度は対象を新入会の懇談参加希望者のみに絞った。懇談に向けて職員で子どもの様子を共有し、保護者に伝えられるようにした。	
保護者懇談会	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	7月に実施。4月以降の学童クラブの様子を伝え、夏休みの過ごし方を中心に説明した。登録児童数が多いため、本館と分室に分けて、2部制にして、各回30分程度で行った。	
わくわくランド役員会	1									1				5	令和5年度は保護者会の役員と、職員がわくわくランドの内容を検討した。	
わくわくランド実行委員会	0															例年、保護者会の実行委員が集まり、担当役員や職員とともに概要の確認、役割分担を行っていた。令和5年度は、実行委員会は実施していない。
登録説明会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	次年度の学童クラブ新入会希望者を対象に、児童館や学童クラブの事業概要及び、学童クラブ登録申請手続きについて説明した。令和4年度からICTを活用した登録申請が導入されたため、web申請の方法についても説明した。	
入会説明会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	初めて学童クラブに入会の家庭を対象に、学童クラブ事業の詳細(運営方針や生活、約束事、費用など)の説明をした。また、帰宅コースごとに集まって顔合わせをし、自己紹介や帰宅ルート・危険な場所等を共有した。	

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること